

第二次能美市総合計画の策定に向けた庁内ワールドカフェ ～開催結果まとめ～

1. 開催概要

- ・日時：平成28年5月20日（金）16:00～18:00
- ・場所：能美市役所 1階 大会議室
- ・参加者数：43名（庁内の主査・主任級の職員）
- ・進行役：企画振興課 谷田課長、上戸課長補佐
- ・内容：①趣旨・方法の説明
②ワールドカフェ方式によるグループでの対話
ラウンド1：本音を言う「どうなの？能美市」（15分）
ラウンド2：10年後「どうなる？能美市」（15分）
ラウンド3：次の10年で創る能美市の魅力：「選ばれるまち」を目指して執行部である貴方が力を注ぐ政策とは？（15分）
③ハーベスト（収穫・共有）
・対話を通して、各自が重要と思う施策を付箋紙に記入し、総合計画の柱となる7つの分野別の模造紙に貼付後、どのような意見が出されたかを説明

2. 当日の様子

▼参加者が4～5名のグループに分かれて対話



▼対話から得られる気づきを模造紙にメモ



▼各テーブルの意見を見て回り、気づきを共有



▼各自の意見を付箋紙に記入し、分野別に整理



3. 得られた意見

- ・ラウンド1～3までの議論を踏まえて、参加者各自が重視する施策を付箋紙に記載し、分野別に整理した結果、下表のような結果となった。

分野	主な意見
暮らし・魅力 (40)	○中山間地の別荘地化 (8) ○「能美牛」のブランド化 (7) ○多様な世代が利用できる魅力的な公園の整備 (6) ○市民力・地域力の向上（支えあいのコミュニティづくり） (5) ○有償シニアボランティアの育成 (3) ○能美市ポイント制度の創設 (2) ○魅力の発信・イメージ戦略 (2) ○地元産を提供する魅力的な店舗 (2) ○レジャー施設の整備 (1) ○宿泊施設の整備 (1) ○外国人の受け入れ施策 (1) ○定住への支援（老後含む） (1) ○のみ電復活 (1)
健康・福祉 (52)	○子育て支援の充実（保育、医療、多子世帯への支援、子育て世代の定住支援、夏休みの給食・弁当サービス、時短勤務、公園整備など） (30) ○シニア世代が活躍できるまち（高齢者の介護・医療サービス、健康寿命の延伸、活動・就業できる場づくり） (15) ○世代間交流の促進（3世代同居助成、居場所づくり、公園整備） (5) ○温泉や自然を活かした健康づくりツーリズムの開催 (1) ○健康づくり推進員の町内での役員化 (1)
教育・文化・スポーツ (8)	○人育て教育（市民力の発掘・育成） (2) ○多世代が運動できる環境づくり・機会づくり (2) ○教育力の向上 (1) ○中学生までに市の魅力・住みやすさを実感できる場の創出 (1) ○多国籍なまちづくり (1) ○選べる小中学校区通学バス (1)
産業・雇用 (11)	○企業誘致（若者や女性の雇用創出、大企業の本社移転など） (9) ○商業施設誘致 (2)
居住環境 (34)	○公共交通の充実・車がない人も暮らせるまち（デマンドタクシー、のみバスルートの細分化、新交通システムの導入、通学バス、高齢者の負担軽減など） (18) ○ベッドタウンとしての地位確立（便利な田舎） (8) ○道路整備・まちなみ整備（バリアフリー、自然を活かしたオシャレなまち、景観形成、無電柱化） (7) ○空き家対策（土地利用、相続人対策、税金対策） (1)
歴史・自然 (6)	○豊かな自然を活かす (2) ○自然を活かしてオシャレな生活ができるまち (2) ○古墳を活かす (1) ○山の中にレジャー施設をつくる (1)
行財政 (2)	○メリハリのある政策（集中させる、何でも予算化しない） (1) ○職員の育成（職員の印象が市の印象になる） (1)

（ ）内の数字は意見の数